

生体物質付着防止コーティング材料



prevelex[®] AP1

COAT → DRY → WASH

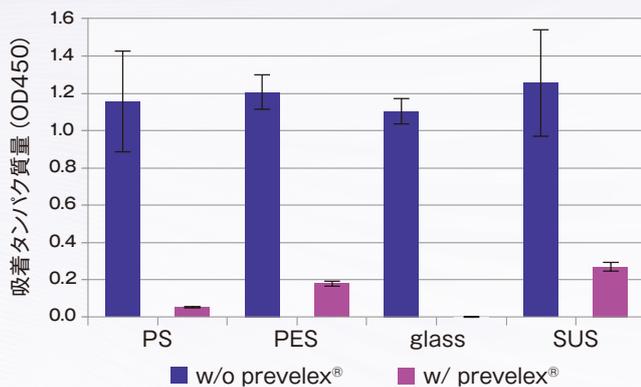
3ステップで簡単コーティング “NANO-BIO-COATING”

- COATING: ポリプロピレン (PP)、ポリスチレン (PS)、ポリエーテルスルホン (PES)、ガラス、シクロオレフィンポリマー (COP)、ポリジメチルシロキサン (PDMS) など種々の基板に3ステップ (Coat-Dry-Wash) で簡単、均一に薄膜コーティング可能

タンパク吸着防止能

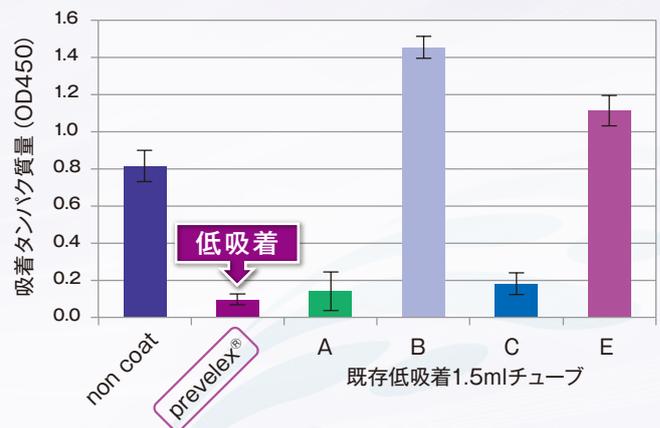
種々の材料への塗布性能

HRP標識したanti-mouse IgG の吸着量



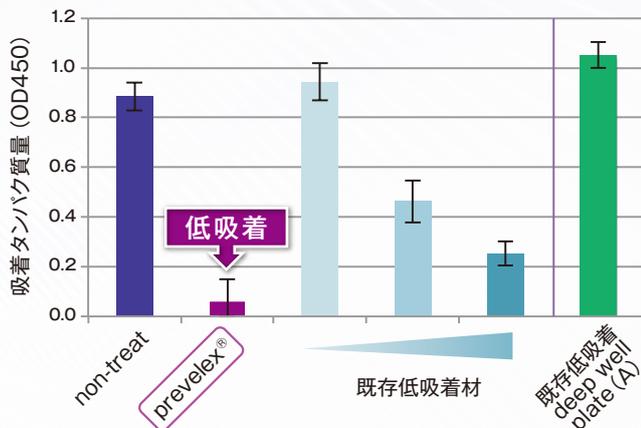
性能比較-1.5ml tube-1

HRP標識したanti-mouse IgG の吸着量



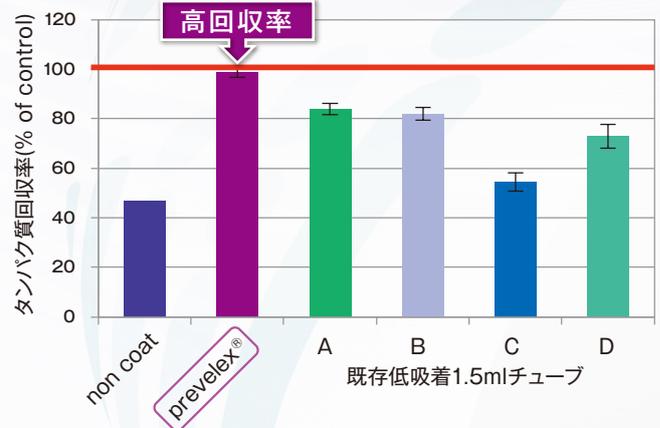
性能比較-deep well plate

HRP標識したanti-mouse IgG の吸着量



性能比較-1.5ml tube-2

FITC標識したBSAの回収率

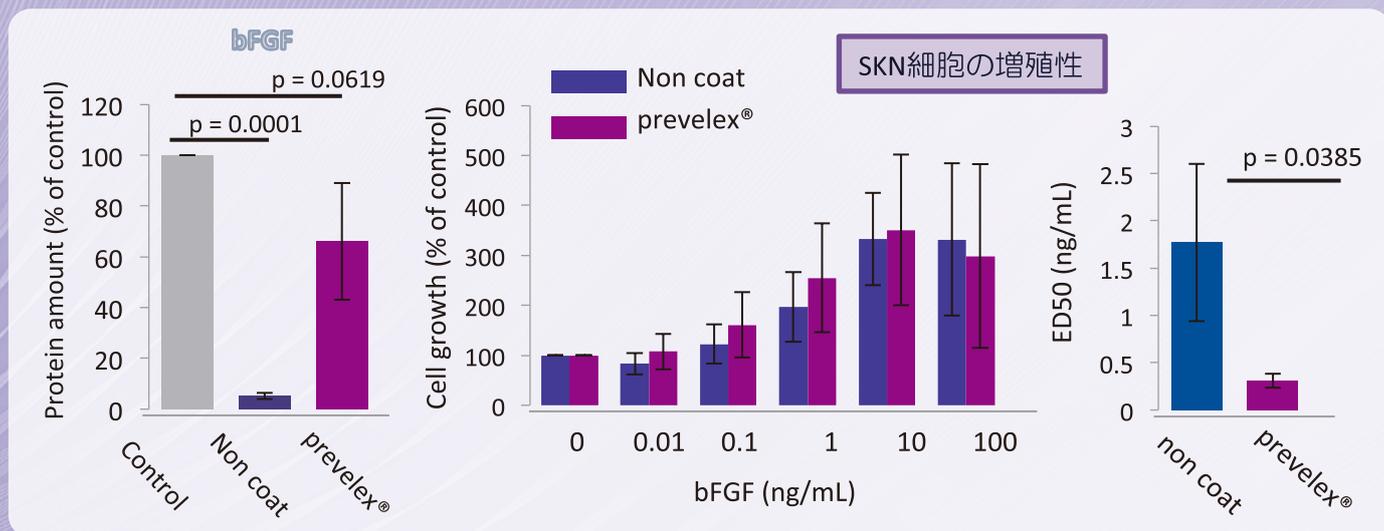


prevelex[®] は評価法、器材種等によらず高いタンパク吸着抑制能を持ちます!



日産化学株式会社

● 増殖因子のガラスプレートへの吸着評価



● 各種耐性 (PPコート時)

有機溶媒耐性	1h			5h		
	10%	50%	100%	10%	50%	100%
メタノール	○	○	△	○	○	×
エタノール	○	○	×	○	○	×
アセトニトリル	○	△	○	○	△	○
アセトン	○	○	○	○	○	△
DMSO	○	○	○	○	○	○

界面活性剤 (5h)	0.1%	1%	20%
SDS	○	○	○
Triton X-100	NT	○	NT
Tween20	NT	○	NT

耐熱性	
95°C (boil), 10min	○
120°C (オートクレーブ), 20min	○* *基材による

滅菌耐性	
EOG	○
γ線 (15kGy)	○

pH耐性 (5h)		pH2	pH3	pH4	pH5
HCl+EtOH	PBS	H3PO4/NaH2PO4	CH3COOH/CH3COONa		
×	○	○	○	○	○

pH6	pH7	pH8	pH9	pH9.58	pH11	pH12
NaH2PO4/Na2HPO4		HCl/C4H11N03 (Tris)		Na2HPO4/Na3PO4		
○	○	○	△	△	△	△

● 安全性

	結果
マウス急性毒性	LD50: >2000 mg/kg
Ames試験	陰性

ポリマー成分として



prevelex® プリベレックス:

超薄膜コーティングにより、生体物質の付着を簡便に防止可能!



日産化学株式会社

〒103-6119 東京都中央区日本橋2-5-1
日本橋高島屋三井ビルディング

企画本部 ヘルスケア企画部

TEL: 03-4463-8370 FAX: 03-4463-8371

URL: <http://www.nissanchem.co.jp>

e-mail: prevelex@nissanchem.co.jp

このカタログに記載されている数値は規格値ではありません。特性等は変動する可能性があります。